

【菊川市】平成27年度障害福祉サービス、児童福祉法に規定するサービスと障害福祉計画の検証

(1) 訪問系サービス

サービス名	検証結果
同行援護	訪問系サービスは実績については、計画値を下回っているが、同行援護に関しては、利用者数、サービス見込量ともに増加した。将来への不安や自立した生活を送ることを目的としたものであった。サービスの利用にも慣れてきていると思われ、今後も利用増が見込まれる。

(2) 日中活動系サービス

サービス名	検証結果
就労継続支援（雇用型）	平成27年度中にこれまで就労継続支援（雇用型）を利用していた人が体調不良や就労への意欲の低下により、利用しなくなったことと、市内及び近隣に就労継続支援（雇用型）の事業所が少ないこともあり、新規の利用者も出てこなかったことにより、実績は計画値を大きく下回る減となった。

(3) 居住系サービス・療養介護・短期入所

サービス名	検証結果
福祉型短期入所	平成27年度中に軽費老人ホームに入所していた人が、入所困難な状況となったが、在宅での生活もできないため、ロングショートで対応したこと、利用者の1人あたりの利用日数が増えたため、実績は計画値を上回るものとなった。

(4) 計画相談支援・地域相談支援

サービス名	検証結果
計画相談支援	平成27年度は、障害福祉サービスの利用者についても比較的落ち着いており、定期のモニタリングがほとんどであった。高齢による介護保険サービスへの移行等もあり、サービス利用者が減る中で、新規の利用者については、周知しているがサービスを必要とする人が少なく、結果として実績は計画値を下回った。

(5) 障害児通所支援・障害児相談支援

サービス名	検証結果
放課後等デイサービス	平成26年度、平成27年度に市内や近隣市町において放課後等デイサービスの事業所が多く開設されたことや、制度が周知されてきたことなどにより利用者の増加（前年対比：140.6%増）や利用見込量の増加（前年対比：178.4%増）につながった。

(6) 平成27年度実績の総括

平成27年度の実績全体を通して、菊川市ではサービスごとに見れば計画値と差異が大きいものもあるが、概ね計画に従って進められていると考えられる。前年度と比較すると障害福祉サービスを利用している人は減少しているが、現在、サービスを利用している人、今後、障害福祉サービスが必要になる人に対して、相談支援事業所をはじめ、関係する事業所と連携し、その人に適切なサービスを提供できるよう新たに開設する事業所の把握といったことに努めていく必要があると感じた。また、生活介護に関する事など、今後の課題になるものについても先進地事例の情報収集をすることなどで少しでも解決につなげていかなければいけないと思われる。